

2016年9月23日

愛知県知事 大村秀章 様
(愛知県防災局 災害対策課 御中)

原子力災害対策に関する事前質問項目

1. 2012年9月9日付の中日新聞(*)によると、岐阜県が2012年に行った放射性物質の拡散シミュレーションでは、敦賀原発で事故が起きた場合に、愛知県の一宮市、犬山市、江南市、大口町、扶桑町でも20mSv/年を超える可能性があるという結果になっています。

また、同じく放射性ヨウ素の拡散については、愛知県北西部の一部でも小児甲状腺等価線量25mSvを超える地域があることが分かっています。

- ① 20mSv/年は、現在福島原発事故後の避難指示基準です。これについて、何らかの対応を対象市・町に要請しましたか？その内容はどのようなものですか。
- ② また、各自治体の対応状況について把握していますか。
- ③ 木曾川の犬山取水場や一宮市の朝日取水場等、名古屋市を含む愛知県民の水源地の放射性物質による汚染が懸念されますが、ヨウ素、セシウムの測定以外に、汚染を「予防」するための防護策は検討されていますか？
- ④ WHOのガイドラインでは、若年者に対しては甲状腺等価線量10mGy(≒10mSv)以上に安定ヨウ素剤の服用を推奨しています。愛知県内でも放射性ヨウ素による被ばくを想定し、安定ヨウ素剤の配布を検討すべきと考えますが、いかがですか。
- ⑤ 原子力規制委員会のシミュレーションでは、原発からの放出放射能の量は福島原発事故の1000分の1となっていますが、現実にはこれを上回る事故が起きる可能性も否定できません。また、福島第一原発の事故と同程度の放出量で岐阜県が行ったシミュレーションも、2010年の気象条件で想定したものに過ぎず、現実にはこれ以上に影響が及ぶ可能性もあります。愛知県としても独自に近傍の原子力施設の事故を想定した放射性物質の拡散シミュレーションを行うべきと考えますが、いかがですか。

2. 愛知県の原子力災害対策について

- ① 原子力規制委員会は、重大事故が起きた際、自治体独自の責任でSPEEDIによる拡散予測を参考情報として活用することは認めましたが、愛知県としてはSPEEDI情報を活用したいと考えていますか。また、それはどのような理由からですか。
また、活用する場合、SPEEDI情報はどのようなルートで入手するのか具体的に説明してください。
- ② 愛知県内5カ所で設置されているモニタリングポストには、何種類の測定器がありますか？それらの測定器の上限値を教えてください。
避難基準OIL1の毎時500 μ Sv、OIL2の毎時20 μ Svまで測れる測定器は何カ所に設置してありますか。

- ③ 愛知県の原子力災害対策計画では、県民の避難については想定されていません。愛知県民に避難が必要となるような事故は起きないということですか。その根拠はどのようなものでしょうか。
- ④ 愛知県もしくは県内の病院等にホールボディカウンターは配備されているのでしょうか。
- ⑤ 長野県松本市は柏崎刈羽原発と志賀原発から150km、浜岡原発から180kmの距離にありますが、同市は原子力災害対策にヨウ素剤の備蓄を位置付け、災害時医療救護活動マニュアル原子力災害編で配布等について定めています。愛知県と県内各市町村もヨウ素剤を備蓄し、原発事故時に配布できるよう活動マニュアルの策定も含め備えておくべきではないでしょうか。
- ⑥ 愛知県庁は、容量の大きなメールの送受信ができないそうですが、原発事故時にSPEEDI 情報を受送信できるのでしょうか。福島原発事故では、福島県の担当職員が、SPEEDI 情報を受信しながら容量が大きいため消去していたことが明らかになっています。南海トラフ地震も想定される中で、県の防災局のインフラは十分なのでしょうか。
- ⑦ 愛知県の原子力災害対策計画の最後に、「今後原子力災害対策計画において検討を行うべき課題」が列記しており、「次世代型の愛知県らしい情報共有手法の構築」とありますが、どのような手法を構築するのか具体的に説明してください。また、その構築はどこまで進んでいますか。

3. 愛知県が2012年3月26日に関西電力と合意した「原子力発電所の安全確保に係る情報連絡の運用について」（以下、「確認書」という）の解釈書について

（1）「放射性物質によって、発電所の周辺環境に異常が発生したとき」に「速やかに連絡」することになっており、「(ア) 環境に関連する放射線測定装置が設定値を超えたとき、または超えるおそれがあるとき。」とあります。

- ① この放射線測定装置はどこに設置したものを指すのですか。各原発サイトの敷地境界のモニタリングポストですか。
- ② この設定値はいくらですか。

（2）この解釈書は原子力防災において県及び県民にとって重要な文書ですので、確認書とともに県HPに速やかに掲載してください。

以 上

* 【中日新聞】朝刊(2012年9月9日)「敦賀原発事故最悪ケース 尾張北部も20ミリシーベルト超」
<http://iryuu.chunichi.co.jp/article/detail/20120910150736574>